

Special News Special

# 風雪106年…東京去る教育大



大塚キヤ  
ンバス

# 郷愁と恍しさと

教育界の名門といわれ、独特のアカデミックな学風を誇っていた「東京教育大学」(大山信忠学長、東京都文京区大聖)が、この十五日で百六年の歴史にピリオドを打つ。わずか一世紀の間に

開校学校→東京高等師範学校→東京文理科大→東京教育大と西風

◆引っ越し作戦◆

やっぱり、さびしい。母校がなくなるとは、どんなことなのだろうか。三十任教へんをとった文部省の精勤直行教諭がしらみでいい。人けのないキャンパスでは、いま職員たちが引っ越しの荷造りにあわたしい。

公文書一万4291冊(文部省、人事記録、卒業論文など)、「永久保存」9753冊)。品多難。

十五日の「閉学式」の直後から

これらの教育大の宝、を筑波大学へ搬送する。引っ越し大作戦が始まっている。

一方、同大ゆかりの「大学門標」「校旗」などは、資料室をつ

## 文京区、講道館などが争奪戦

◆昔の名前で◆

「閉学式」が終わると、東京教育大といふ名前は、公文書などからついでに消える。学長印や

跡地はどうなる◆

東京教育大学の跡地(八九〇〇

○平方)をめぐって、すでにボッ

に、賛否両輿も激しい。

まつに名乗りをあげたのが地

元の文京区。二月一日から半月

間、蓮嶋正則区長が菊池に立つ

て、菊池で「区民の方で教育大臣

育大」一日に行われた。最後の

卒業式。に集まつた卒業生たち

も複雑な表情だった。東京・大

学で

○

に、

に、